

写真１

近隣史跡の紹介

日本水準原点標庫

国会議事堂近くの憲政記念館構内に、明治24年に造られた石造りの「日本水準原点標庫」(標庫)があります。近代洋風建築として、東京都指定有形文化財(建造物)にも指定されている標庫内には「日本水準原点」が設置されています。日本の土地の高さ(標高)は、東京湾の平均海面を基準（標高0m）として測られています。

日本水準原点は、東京湾の平均海面を地上に固定したものであり、6月3日の「測量の日」には、一般公開され、多くの人々が見学に訪れていました。(写真1)。

一般公開日は、標庫の扉が開放され、日本水準原点の水晶板に刻まれた0表示の目盛りや基礎に刻まれた文字（写真2）を見ることができます。

明治24年当初は、0表示の目盛りの高さは東京湾平均海面上24.500mでしたが、その後の関東大震災や東日本大震災等の地殻変動により、24.3900mに改定されています。

参考文献
国土交通省国土地理院関東地方測量部資料
東京都教育委員会資料

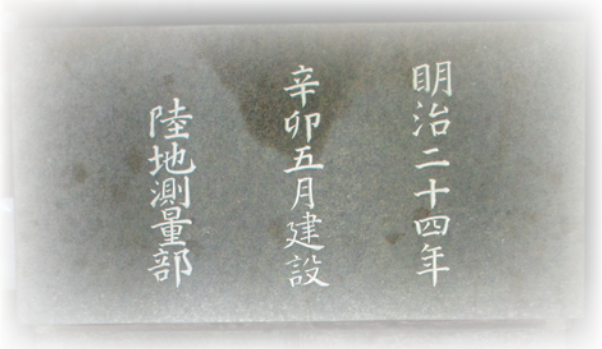


写真２

